

# 成果生む経営へ 本質を捉えた アドバイスの実践



高津佐 和宏

KOUTSUSA Kazubiro

合同会社アグリビジネスパートナーズ  
代表社員  
(宮崎県宮崎市)

**私**は、農業経営に悩んでいる農家やこれから農業に挑戦する方の問題解決を支援するため、農業経営コンサルタントの仕事をしています。

その取り組みを続けるなかで気づいたことをまとめ、2024年10月に拙著『金持ち農家、貧乏農家』(かんき出版)を発売させていただきました。

執筆に取り掛かってから約1年。私が主宰している「儲かる農家のオンラインスクール」に参加している農家を中心に多くの方にヒアリングさせていただき完成した一冊です。おかげさまで発売から半年で2万部を超え、増刷を重ねています。

本書では事例を踏まえたポイントを解説しているため、読者の感

想で多いのが「自分は金持ち農家なのか、貧乏農家なのか、項目ごとにチェックしながら読みました」というもの。今までやってきた農業経営の答え合わせになっているのは非常にうれしいですね。

かし、この現場を知らずにアドバイスすることは難しい。

結局、本質的なことを避けて、自分がよくわかっている分野でのアドバイスに偏ってしまうことがあります。経営が低迷している原因



©富田 文雄

また、普及指導センターの職員やJA指導員が現場指導する際に活用している話も聞きました。本書が職員の方々が指導するための助けになったり、指導の根拠になったり、自信になったりしているのなら著者冥利に尽きます。

**そ**て、執筆を始めた動機の一つでもあります。農業の現場は、業界に詳しくない人にとって非常にわかりにくいものです。

例えば、料理人が調理する現場は想像できるけれど、農家が農作業する現場は想像できません。し

は、農業生産にあるかもしれないのに――。

農家に的確にアドバイスするためには、経営数値はもちろん、農業生産もすべて数字で把握すること。そして、数値化されたデータをその地域で同じ品目を作っている「プロ農家」と比較することが必要です。

同じ地域で同じ品目を同じように作って、同じ先に出荷しているのに、収入に差がでるのはなぜか。この問いを解決することが農家へのアドバイスの第一歩です。 **F**

## こうつさ かずひろ

2018年に15年勤めた宮崎県経済農業協同組合連合会を退職し、農業経営をサポート。21年からスタートした「儲かる農家のオンラインスクール」は有料メンバーが280人を超える。



農業経営アドバイザーは農業経営者のニーズに対応し、経営への総合的的確なアドバイスを実践する専門家です。2005年、農業経営の発展に寄与することを目的に日本公庫が資格制度を創設しました。本コーナーは、上級資格である上級農業経営アドバイザーが執筆しています。